

第 5 章

JICA 「ラオス人民民主共和国道路維持管理
能力強化プロジェクト」研修

5.1 概要

(1) 研修会名

国際協力機構(JICA)「ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト 第三回本邦研修」

(2) 開催の背景

国際協力機構(JICA)は、ラオス人民民主共和国に対して、2011年9月から2016年9月までの5年間にわたり、ラオス国内の道路・橋梁の維持管理能力を強化する協力・支援事業(「道路維持管理能力強化プロジェクト」、以下「技プロ」)を実施している。インフラ長寿命化センターに所属する西川貴文教員(大学院工学研究科社会環境デザイン工学コース)は、研究・開発した道路ラフネス診断システム(Dynamic Response Intelligent Monitoring System: DRIMS)を用いたラフネス計測に関する技術指導のために当該技プロに参加している。技プロでは例年1~2回のラオス国外研修を実施しており、今年度はインフラ長寿命化センターと社会環境デザイン工学コースとの共催によって長崎大学で研修を開催することを企画した。

インフラ長寿命化センターは以前より“道守”養成ユニットを実施しており、“道守”養成講座と社会環境デザイン工学コースの教育カリキュラムを活用し、初めての試みとなるJICA「ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト本邦研修」の本学開催を実施するに至った。

(3) 研修会の目的

研修は、研修に参加したラオス国研修員が以下の項目を把握し習得することを目的として実施された。また、ラオス国における維持管理体制および関連制度をレビューし、問題や課題を把握し、維持管理体制・制度の強化のための方策をアクションプランにまとめるなどして、プロジェクトの目標を達成することが目的とされた。

- ①本邦および第3国での道路・橋梁維持管理に係る組織体制(組織、職掌、人材、機材、予算)
- ②道路・橋梁維持管理のシステム、データベースの整備及び利用状況
- ③道路・橋梁維持管理の点検、評価、補修のガイドラインの整備及び利用状況
- ④日常維持管理・補修にかかる最新技術、実地見学

(4) 期間

本研修は、2014年7月22日から2014年8月2日の11日間にわたって開催した。研修日程の概要を表5-1に示す。

5.2 プログラムの構成

研修のプログラムは、インフラ長寿命化センターの“道守”講座カリキュラムと社会環境デザイン工学コースの教育カリキュラムをもとに、ラオス国および技プロの要望に応じて編成した。

ラオス国内の道路構造物の状況を考慮し、道路舗装、橋梁、トンネルおよび斜面の維持管理に関する講義を設け、点検・診断技術については講義と演習・実習がリンクした構成とした。特に、“道守”養成講座でも行われている点検技術の演習は、研修員が積極的に先

表 5-1 「ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト 第三回本邦研修」の日程概要

日程		内容	宿泊	備考
7月21日	月	福岡着	福岡	
7月22日	火	JICA ブリーフィング&長崎へ移動	長崎	鉄道移動
7月23日	水	長崎大学での講義 (Day 1)	長崎	
7月24日	木	長崎大学での講義 (Day 2)	長崎	
7月25日	金	長崎大学での講義 (Day 3)	長崎	
7月26日	土	自由行動	長崎	
7月27日	日	自由行動	長崎	
7月28日	月	長崎大学での講義 (Day 4)	長崎	
7月29日	火	長崎大学での講義 (Day 5)	長崎	
7月30日	水	フィールドビジット (Day 6)	長崎(雲仙)	バス移動
7月31日	木	フィールドビジット (Day 7)	福岡・大分	バス移動
8月1日	金	JICA での検討会	福岡	
8月2日	土	福岡発	ビエンチャン	

進の診断技術を体験することができ、強い関心を集めた。また、長崎の道守制度は今後のラオス国の道路維持管理の組織体制の構築に大いに参考となったようである。

日本の道路維持修繕に関する講義では、国土交通省九州地方整備局および同・長崎河川国道事務所の協力を得ることができ、講義に引き続いて行ったディスカッションも含めて、我が国の道路維持管理の現況と最新の取り組みを研修員に紹介するとともに、ラオス国の道路維持管理の状況を我が国の道路管理者が把握する貴重な機会となった。

フィールドビジット（道路建設現場見学）については、国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所と NEXCO 西日本の協力により、雲仙普賢岳の火山災害と災害復興現場および東九州自動車道の道路・橋梁建設現場の見学を設けることができた。

研修プログラムを表 5-2 に示す。

5.3 研修員および講師

今年度の研修には、ラオス国の公共事業運輸省（我が国の国土交通省に相当）や県公共運輸局の職員など 5 名の研修員が参加した。表 5-3 に参加した研修員の一覧を示す。講義、演習・実習およびフィールドビジットは、表 5-4 に示す講師のもとに行われた。

5.4 まとめ

前記したように今年度の研修では、プログラムの構成から実施に至るまで、国土交通省九州地方整備局、同・長崎河川国道事務所、NEXCO 西日本に多大なる協力を得た。ここに記して篤く謝意を表す。

このような研修を大学で主体的に受け入れ、実施することは非常に稀であり、大学組織がグローバルな技術教育を担う好例となった。今年度の研修が、社会基盤施設の維持管理に係る日本の技術と教育を世界へ発信する重要な一歩となることを期待する。

表 5-2 「ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト 第三回本邦研修」プログラム

日 程		I	II	休憩	III	IV	V	研修場所	
		9:30 - 10:30	10:45 - 11:45		13:00 - 14:00	14:15 - 15:15	15:30 - 16:30		
7月22日	火	JICA ブリーフィング			移動（福岡～長崎）			JICA 九州	
7月23日 [Day 1]	水	ガイダンス 研修生の自 己紹介等	長崎大(工) の研究紹介 (1)		長崎大 (工)の研 究紹介(2)	ディスカッション1 大学構内案内		長崎大	
7月24日 [Day 2]	木	[1]日本の道路維持修繕体制:地 方整備局 [2]日本の道路維持管理の現 況:地方整備局 [3]ディスカッション2(質疑応 答、自由討議)			フィールドビジット(長崎): 道路維持管理業務等			長崎大	
7月25日 [Day 3]	金	橋梁の維持 管理(1):鋼 橋	鋼構造物の 点検概論・事 例		鋼構造物点検演習			長崎大	
7月28日 [Day 4]	月	橋梁の維持 管理(2):コ ンクリート 橋	コンクリ ート構造物の 点検概論・事 例		コンクリート構造物点検演習			長崎大	
7月29日 [Day 5]	火	斜面・舗装 の維持管理	トンネルの 維持管理		長崎の 取り組 み:災害 対策	長崎の取り組 み:道守(制度 と通報システ ム)	ディスカッ ション3	長崎大	
7月30日 [Day 6]	水	フィールドビジット(長崎): 雲仙災害復興事業(国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所)						雲仙岳災害 記念館ほか	
7月31日 [Day 7]	木	フィールドビジット(大分・福岡): 東九州自動車道建設現場(NEXCO 西日本中津工事事務所)						東九州自動 車道	
8月1日	金	JICA 検討会(修了式)							JICA 九州

表 5-3 研修員一覧

No.	氏名	所属機関・役職
1	Mr. Saphone PHOUNTHAVY	Trainer in road engineering
2	Mr. Laythong PHOMMAVONG	Deputy Director of Technical Division (TD)/DOR, MPWT
3	Mr. Chanthavangso Oudomdeth	Director of Infrastructure and Transport Div./PTI
4	Mr. Bounpasong NOYKHAMNGON	Engineer of Road and Water Way Administration Division, DPWT VTE Province
5	Mr. Souksavanh NANTHAVONG	Engineer of Land Way Administration Section, DPWT Savanakhet Province
MPWT:	Ministry of Public Works and Transport (公共事業運輸省)	
DPWT:	Department of Public Works and Transport (県公共事業運輸局)	
PTI:	Public Works and Transport Institute (公共事業運輸研究所)	
PTTC:	Public Works and Transport Training Center (公共事業運輸訓練センター)	

表 5-4 研修講師一覧 (順不同、敬称略)

No.	氏名	所属 (研修開催当時)	担当講義
1	時川三千夫	国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所	Day2-I_II
2	目床順司	国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所	Day6
3	本多正和	西日本高速道路株式会社九州支社中津工事事務所	Day7
4	高橋和雄	インフラ長寿命化センター	Day5-III
5	松田 浩	長崎大学 大学院工学研究科	Day4-I
6	中村聖三	長崎大学 大学院工学研究科	Day3-I
7	森田千尋	長崎大学 大学院工学研究科	Day3-II
8	奥松俊博	長崎大学 大学院工学研究科	Day4-II
9	杉本知史	長崎大学 大学院工学研究科	Day5-I_II
10	西川貴文	長崎大学 大学院工学研究科	Day1, Day6, Day7
11	出水 享	長崎大学工学部教育支援部	Day3-III_IV, Day4-III_IV
12	林山愛弓	インフラ長寿命化センター	Day3-III_IV, Day4-III_IV

